

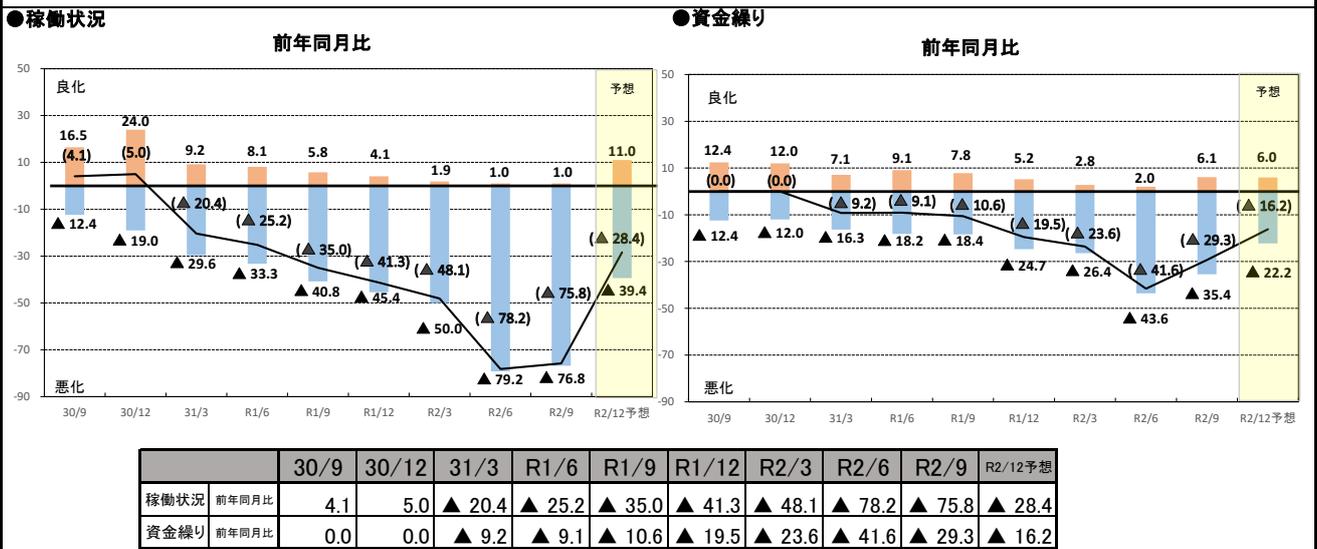
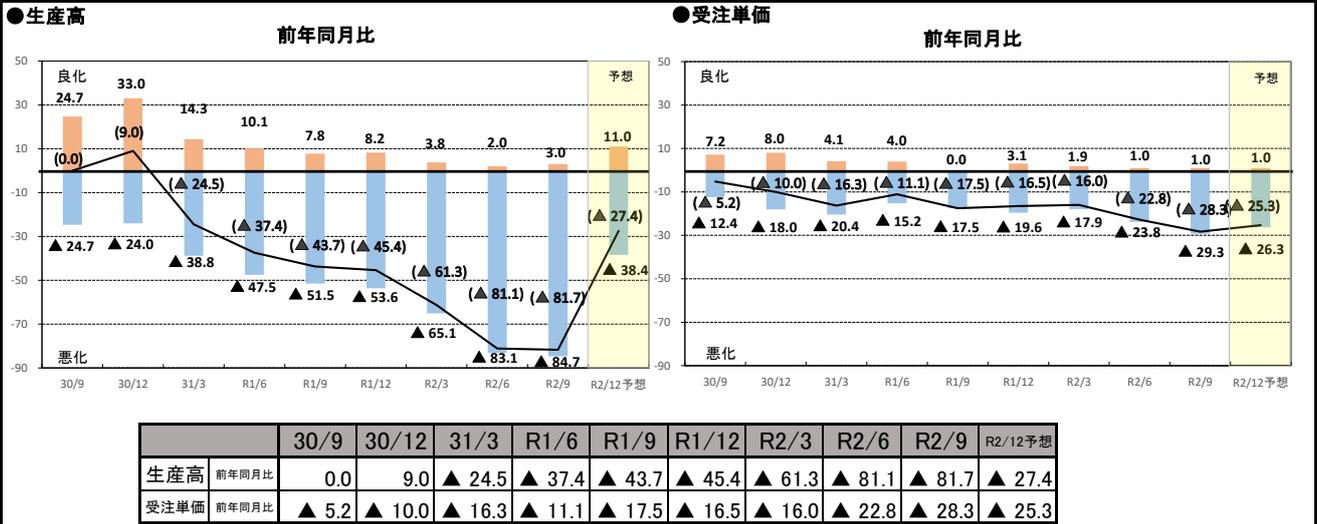
# 受注企業動向調査結果

-2020.10-

- 調査時点 令和2年9月調査(令和2年9月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 99社(回答率:66.00%)

＜業種内訳＞	
プラスチック	9社
鉄鋼・非鉄	7社
金属製品	19社
一般機械器具	24社
電気機器	19社
輸送用機器	7社
精密機器	9社
縫製	5社
計	99社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。



## ●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)DIは▲81.7で前回の▲81.1から0.6ポイント減の悪化となった。
- ・受注単価(前年同月比)DIは▲28.3で前回の▲22.8から5.5ポイント減の悪化となった。
- ・稼働状況(前年同月比)DIは▲75.8で前回の▲78.2から2.4ポイント増の改善となった。
- ・資金繰り(前年同月比)DIは▲29.3で前回の▲41.6から12.3ポイント増の改善となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲27.4で54.3ポイント増の改善、受注単価は▲25.3で3.0ポイント増の改善、稼働状況が▲28.4で47.4ポイント増の改善、資金繰りは▲16.2で13.1ポイント増の改善という予想になった。
- ・その他自由意見として、受注が減少し、先行きが見えない。コロナウイルスの影響が大きい。この状況が続けば採算も悪化していくと思われる。  
また一部では、受注が徐々に良化へ向かっており、今後増産見込みである。製品により受注量に違いはあるが、売上増となったという意見が寄せられた。